

(別紙)

シンポジウム「BSEはいかに種の壁を越えるか」の開催について

1. 主催：食品安全委員会、日本学術会議
2. 日時：平成17年10月31日(月)13:30～16:00
3. 会場：日本学術会議大会議室(2階)港区六本木7-22-34
地下鉄千代田線「乃木坂」駅 青山霊園口下車 左に1分
4. 次第：
開会挨拶 唐木 英明(日本学術会議会員・第2部(生命科学系)副部長)
司会： 小野寺 節(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
講演： **Dr. Corinne Ida Lasmézas(スクリプス研究所教授)**
(前 仏原子力研究所プリオン病研究所長)

「BSEはいかに種の壁を越えるか」

プリオンとは何か、プリオン病とはどのような病気か。英国でのBSEの流行、その原因と結果、そしてヒトへの感染。動物感染実験からBSE感染のメカニズムがどの程度分かったのか。マウスとサルへの感染実験から、ヒトへの感染について言えること。新型ヤコブ病のヒトからヒトへの感染について。

(日英同時通訳有り)

質疑応答

閉会

5. 参加申し込み方法

別添の「参加申込書」に記入の上、以下の申込先にFAX又は郵送してください。

(申込先) 食品安全委員会事務局 情報・緊急時対応課 あて

・FAXでのご応募：03-3591-2236

・ハガキでのご応募：〒100-8989 東京都千代田区永田町2-13-10
プルデンシャルタワー6F

6. 連絡先

日本学術会議 参事官付審議専門職 小熊

電話 03-3403-1091

FAX 03-3403-1640

食品安全委員会事務局情報・緊急時対応課 熊谷、川田

電話 03-5251-9182 又は 9185

FAX 03-3591-2236

(参考)

< コリーヌ・ラスメザス博士 (Dr. Corinne Lasmézas) プロフィール >

コリーヌ・ラスメザス博士は、仏国立トゥールーズ獣医学学校、トゥールーズ大学医学部を卒業、獣医学博士。また、ピエール・マリー・キュリー大学(パリ)において、生物学神経学博士号を取得。1991年より仏原子力委員会において伝染性海綿状脳症の研究に従事し、2002年からは同委員会医学研究部プリオン病理学研究所長を務めた。2005年6月からスクリプス研究所教授として米国において研究活動を行っている。また、仏食品庁から仏保健科学審議会まで幅広く政府の要職を務めている。同様に英国海綿状脳症諮問委員会(SEAC)委員、英国環境・食料・農村地域省(DEFRA)TSE研究諮問委員会委員等としても活躍している。研究論文、著書多数。

(別添)

シンポジウム「BSEはいかに種の壁を越えるか」

(平成17年10月31日開催)

参加申込書

フリガナ 氏名	住所(都道府県から)	Tel番号(市外番号から) Fax番号	フリガナ 勤務先 所属団体等
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel ----- Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel ----- Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel ----- Fax	

当方から連絡させていただく場合に備えて、Fax番号のある方は必ずご記入願います。

・該当する番号にひとつだけ を付けて下さい。

- 1) 消費者団体 2) 無職(主婦、学生等) 3) 生産者
4) 食品関連事業者(加工、流通、販売等) 5) マスコミ関係者
6) 行政関係者 7) 研究・教育機関(食品関係)
8) その他(具体的にご記入下さい:)

なお、この用紙は、平成17年10月27日(木)正午までに提出いただきますようお願いします。

FAX送信先: 食品安全委員会事務局 情報・緊急時対応課 あて
03-3591-2236